

ムーディーズがインド国債を格下げ 投資適格級は維持

情報提供資料 2020年6月3日

・ 2020年6月1日、米格付け会社ムーディーズ・インベスターズ・サービス（以下「ムーディーズ」）は、インド国債（自国通貨建て長期債）の格付けを「Baa2」から「Baa3」に1段階引き下げました。今回の格下げの背景と金融市場の反応について、ご説明します。

➤ 低い経済成長率や財政悪化の見直しなどを受けた動き

- 2020年6月1日、米格付け会社ムーディーズは、インド国債（自国通貨建て長期債）の格付けを「Baa2」から「Baa3」に1段階引き下げました。格付け見直しは、2019年11月に「安定的」から「ネガティブ」に引き下げられていましたが、今回も「ネガティブ」を維持しました。
- S&Pグローバル・レーティング（以下「S&P」）は2007年1月以降、フィッチ・レーティングス（以下「フィッチ」）も2006年8月以降、「BBB-（ムーディーズの「Baa3」に相当）」を維持する中、ムーディーズは2017年11月にモディ政権が進める改革を評価して「Baa3」から「Baa2」に1段階引き上げていましたが、今回はその動きが巻き戻される形となりました。
- 今回の格下げは、インド政府が、相対的に低い経済成長率が続くことや財政の大幅な悪化、金融セクターが抱える不良債権問題などのリスクを実質的に緩和する政策を成立させ実行するのが容易ではない、とのムーディーズの見直しに基づくものです。
- ムーディーズは、今回の決定は新型コロナウイルスの感染爆発の中で行われたものの、ウイルスの影響が直接引き起こしたものではないとしています。感染拡大が起こる前に既に顕在化していた信用面の脆弱性が、新型コロナウイルスによって増幅されたとの見方を示しました。

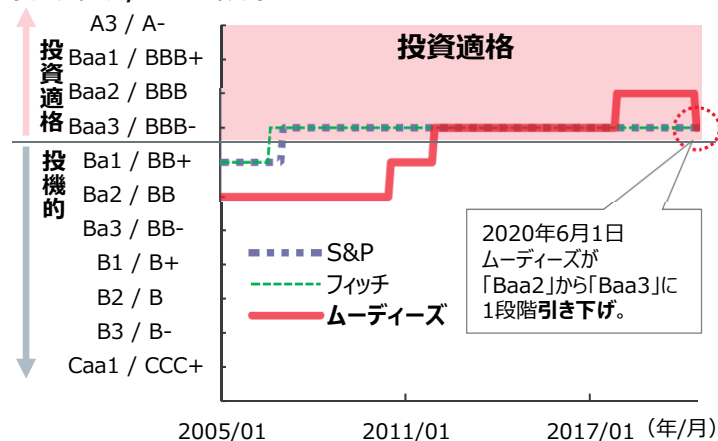
➤ 今後の見直し

- S&Pとフィッチが「BBB-」を維持する中で、ムーディーズだけが「Baa2」と一段階高い格付けとなっていたこともあり、ムーディーズによる今回の格下げはインド金融市場においてはサプライズではなく、想定内と受け止められました。格下げ後もインド国債は投資適格を維持することから、債券市場および通貨市場における影響は限定的なものにとどまるとの見方です。株式市場でも特段材料視はされないと見られます。

【インド国債の格付け*の推移】

（2005年1月～2020年6月**、月次）

（ムーディーズ/S&P・フィッチ）



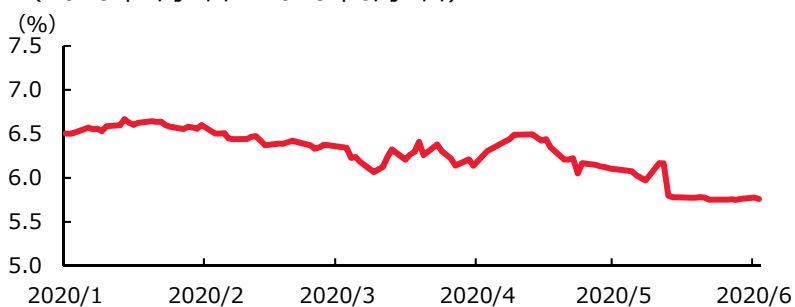
出所：Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
*自国通貨建て長期債の格付け。 **6月2日時点。

➤ 金融市場の反応

- ムーディーズの格下げを受けた6月2日の金融市場では、インド10年国債利回りが前日から0.02%低下（価格は上昇）しました。インド準備銀行（中央銀行、RBI）による国債買入等への期待が支援材料となりました。インドルピーは対米ドルで前日比（以下同）+0.6%の上昇となりました。株式市場では、主要株式指数であるSENSEX指数が+1.6%と、アジア株式市場の上昇に連れる形で上昇しました。

【インド自国通貨建て10年国債利回りの推移】

（2020年1月1日～2020年6月2日）



出所：Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。（年/月）

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。